



TCU-COM

p01 後援会副会長挨拶

p02 平成28年度「大学と保護者との連絡会」取材レポート

p05 平成28年度 就職動向と支援

p09 キャンパスSpot②③

p11 クラブ活動紹介③④

p17 Campus Topics

p19 平成28年度「大学と保護者との連絡会」実施結果

後援会副会長挨拶

社会に通用する人材とは

後援会副会長を務めさせていただいております北澤です。保護者の皆様並びに大学関係者の皆様には、日ごろから後援会に多大なるご支援を頂戴しましてありがとうございます。

2月を迎え、いよいよ受験シーズンが本格化してまいりました。この時期になりますと、子供はもちろん、私ども親も、必要以上に気を使っていた当時のことが思い出されます。

さて、大学を選ぶ時の目安として、入学時の「偏差値」が挙げられますが、私は、本当の大学の偏差値は、「入学後に学生の能力を伸ばしてくれること」ではないかと思っています。社会で活躍している人々が皆、有名国公立・私立大学を卒業しているわけではありません。私が働いていた菓子製造会社で勤務している人々は、学歴もバラバラ、能力もバラバラ、国籍もバラバラでした。ちょうど公立の小中学校と同じです。品行方正なよい子もいれば、どうしようもない悪ガキもいる、そんな混沌とした従業員をまとめて目標を達成しなければなりません。そのためには、学歴以上に、「夢(目標)を描き、その実現に向かって行動し、努力し続ける力」、いわば「人間力」でもいうべき力が必要なのではないでしょうか。

東京都市大学は中長期計画「アクションプラン2030」に基づき、学生のことを第一に考え、教育・研究等を通して改革をすすめ、進化し続けています。たとえば、昨年度から始まった「TAP(Tokyo City University Austraria Program)」に参加した学生は、「一回り大きくなって帰国してくる」と伺っております。社会で通用する人間力を身につけ、世界で活躍できる人材の育成が進んでいることの一例です。

私事で恐縮ですが、幸いなことに、私の息子は東京都市大学に入学し、よき友人を得、熱心な教授のご指導の下勉学に励み、サークル活動で視野を広め、充実した大学生活を送ることができました。この四年間ほどのびのびとした息子の姿は、今まで見たことがないほどです。専攻の関係で、卒業後は他大学の大学院に進学することになりましたが、一回り大きくなり、自分に自信をつけて卒業の運びとなりましたことを、心から感謝しております。

後援会は、保護者の皆様の代表として、大学の教職員の方々と協力し、今後も、学生にとって良い環境づくりを進めてまいりますので、保護者の皆様におかれましては、引き続きご支援をいただきますようお願いいたします。



東京都市大学
後援会副会長

北澤 正雄

平成28年度

「大学と保護者との連絡会」

取材レポート

取材協力：東京都市大学新聞会



昭和42(1967)年に始まり、平成元(1989)年からは後援会との共催で実施している「大学と保護者との連絡会」。50年目の節目となる今年も、全国各地で開催された後、10月1日(土)、世田谷、横浜、等々力3キャンパスでの連絡会をもって全日程を無事に終えました。保護者のコメントも交え、大学会場の様子をご紹介します。

秋の恒例行事、「大学と保護者との連絡会」地方会場では、毎年、卒業生(校友会支部)ご臨席のもと、大学のビジョンや学生たちの生活の様子、カリキュラムの特徴、就職状況や企業が求める人材像などを説明するとともに、保護者の方々からのさまざまな疑問・質問にお答えしています。

また、大学会場では保護者から、「専門知識だけでなく、国際人としての教養が大切なことが分かった」「キャンパスの雰囲気を感じた」「直接教職員と話ができる連絡会は、他の大学にはほとんどない貴重な機会」などと、毎回ご好評をいただいております。実は、本学の連絡会は半世紀もの長い歴史を持つ伝統行事。平成28年度は、9月3日(土)の札幌、高崎、長野、沼津、浜松、広島6会場スタートし、10月1日(土)、世田谷、横浜、等々力3キャンパスでの連絡会でその掉尾を飾りました。



学修面や生活面でのアドバイス 「就職に強い」現状などが報告されました

世田谷キャンパス会場では、知識工学部の連絡会が午前9時半から、工学部は午後0時半から受付を開始。それぞれその30分後から、学科の主任教授、教務担当教員、就職担当教員による各学科説明会、学年別説明会と懇談、その後、希望者に対する個人面談が行われました。

知識工学部情報通信工学科の学科説明会では、佐和橋衛



受付開始と同時に多くの保護者が会場へ



「デバイスからシステムまで幅広く学べるのが学科の特徴」と語る情報通信工学科の佐和橋教授

主任教授の進行により、システムからデバイスまで幅広く学べることなど学科の特徴や、保護者の関心がことのほか高い卒業後の進路や就職状況について説明がありました。質疑応答では、現在ようやく持ち直してきた就職環境が、東京五輪が終わった後には再び冷え込んでしまうのではないか、という質問が出され、大学側は「情報通信分野は慢性的な人手不足が続いているので、五輪などの一時的な景気判断に左右されません」と力強く回答。会場は安堵の空気に包まれました。

工学部機械システム工学科の学科説明会でも、野中謙一郎教授が、GPA(Grade Point Average：各科目の成績から特定の方式によって算出された成績評価値。欧米で一般的に用いられていたが、近年日本でも導入する大学が増えている)による成績評価など修学上の仕組みや、学年暦など日常生活について紹介し、就職担当教員からは「平成27年度における学科の実就職率は94%、大学院は100%。メーカーへの就職が多い」など「就職に強い都市大」の実状が報告されました。また、「保護者の皆さんはお子さんと真剣に話し合う場を設けるなど、最も身近な社会人としてしっかり見守っていただきたい」など、保護者へのお願いも伝えられました。



「学びの集大成である卒業研究が大切です」と訴える情報通信工学科の岡野教授



キャンパス設備や学習環境の向上、 TAPの実績など全学的な話題を紹介

平成25年4月、環境情報学部の改編によって生まれた環境学部とメディア情報学部は、今年度、初の卒業生を送り出します。午前10時からスタートした環境学部説明会の開会挨拶に立った吉崎真司学部長は、「来年3月に第一期生が卒業します。これからもっと、質を高める教育を行いたい」と強調。さらに夏期休暇中に食堂がリニューアルしたこと、学生たちがフリーWi-FiやSkypeなどのメディアを活用しながら主体的に英語とふれ合う「Global Free Café」が2号館内にオープンしたことなど、キャンパス環境の充実を紹介し、10月からスマートフォンを用いた新しい出席管理システム



横浜キャンパス最大の31A教室はほぼ満席



ポスター展示を熱心に見つめる保護者

を導入することなども報告されました。続いて郭偉宏教務委員長から学修面や大学院進学についての説明があり、「近年、保護者の役割が重要になっており、大学教育においても保護者との関係を大切にしていきたい」と述べました。

午後1時半から開催されたメディア情報学部の説明会では、中村雅子学部長が、平成27年度からスタートした本学の国際人育成プログラム「東京都市大学オーストラリアプログラム(TAP)」の概要など、全学的なトピックスを紹介した後、「私たちは学生の皆さんを、受け身の学び手ではなく、大学、学部を共に創っていくパートナーだと考えています」と説明。続いて、広田すみれ教務委員長が、単位制度や新しいクォーター制度(4学期制)について解説しました。また、昨年度に続いて外部講師を招いての講演を実施。ソーシャルデザイン研究所の採用コンサルタント、渡邊剛氏が演台に立ち、きめ細かい就職支援を行っていることなど、都市大が就職に強い理由などについて語りました。

等々力 CAMPUS 進展するグローバル化は 幼児教育や都市生活の共通課題

等々力キャンパス会場では、午後1時から都市生活学部と人間科学部の説明会がそれぞれスタートしました。人間科学部児童学科の学部・学科説明会では、井戸ゆかり学部

長が、三木千壽学長の着任以来大学のグローバル化が進展し、児童学科でも海外研修の実施や外国人講師による講演会を開催していること、平成28年度の1年生2名が2月よりTAPに参加することなどを紹介。「人間科学部の学生たちは、社会人として最も必要とされるコミュニケーション能力が非常に高いとの評価を載いている。この高評価を維持するとともに、学生一人ひとりの夢を見つけ、かなえるために、教職員がしっかり支えていく」と話しました。続いて早坂信哉教授が、人間科学部は体験的な科目が多いことなど学修面の特徴を紹介。伊藤陽一講師は「(実習などの実践的なカリキュラムが多いので)保護者の方にはメンタル面でのサポートもお願いしたい」と話しました。就職に関する支援体制について説明した倉田新准教授からは、内定率100%を継続中であること、低学年次からキャリア支援を行い、丁寧な指導を心がけていること、海外研修の現状を概説した小林由利子教授からはカンタベリー大学とウーロンゴン大学での研修を実施し、グローバル人材の育成に力を入れていることなどが紹介されました。

その後、懇談、希望者への個人面談を経て、会は無事終了しました。

なお、今年度、全国の連絡会へのご参加は1,497世帯2,035名。来年もより多くの方々のご参加をお願いします。



児童学科全体説明会



各教員が自己紹介。保護者との交流を回りました

仙台会場

大学の最新情報提供と有意義な意見交換

横浜キャンパス キャリア支援センター 課長 渡邊 光洋

昭和42年より続いている「大学と保護者との連絡会」が今年度も各地で開催されました。今回は東北地区「仙台会場」よりご報告いたします。

仙台会場では、9月11日(日)午後1時半より「江陽グランドホテル」にて開催いたしました。少し厚めの曇りに覆われて連日の暑さが和らいだ中、地元では結婚式も催されるような少し厳かな雰囲気のある会場での実施となりました。当日は20世帯29名、各学部・各学年の幅広い層の方々にご参加いただきました。

大学からは教職員4名より「大学の近況」「学修の流れ」「キャンパスライフ」「就職・大学院」の大きく4つのコンテンツについてパワーポイントの画像を元に説明させていただきました。その中では今回初の実施となった「留学プログラムTAP」の実施報告や、保護者の方には中々わか

りづらい「成績表の見方」「就活支援のポイント」などを具体的に話させていただき、大学の取組みなどについての理解を深めていただくことができたのではないかと思います。また、本学の同窓会組織である校友会宮城支部の渡邊氏より、「校友会の活動状況」や県の就職状況に絡んで「企業目線からの就活のポイント」についてもお話いただくことができ、非常に有意義な会であったと思われま

短い時間ではありましたが、質疑応答の中では就職や進学、学生の心のケアについての質問やご意見など、活発な意見交換をすることができました。いただいたご意見を参考に、今後もより良い連絡会の運営を行うとともに学生の支援を大学全体で考え、実施していきたいと思



後援会誌「TCU-COM」をご覧ください。ありがとうございます。後援会では、皆様のご意見・ご感想を参考に保護者会の内容充実に向けて参りたいと考えております。つきましては kouenkai@tcu.ac.jp宛または、後援会ホームページINDEXの大学と保護者との連絡会にあります「☒ご意見、ご感想をお寄せください」にご記入の上、送信してください。(メールは受信のみとなります。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます)

世田谷キャンパス



■ 機械工学科 1年
西田 悠人君のお母さん

入学式での説明が丁寧だったので、今回も参加を決めました。息子が楽しそうに通っている大学の様子を知りたいと思います。



■ 医用工学科 4年
瀬田 慶君のご両親

上の子どもは他大学に通っていたが、ここではこうした連絡会はなかった。4年間欠かさず参加し、個人面談も毎回行っています。



■ エネルギー化学科 4年
長田 直樹君のご両親

私たちにとって最後の連絡会。先生から直接話を聞くことができ、キャンパスの変化も肌で感じられるのが嬉しいですね。



■ 建築学科 1年
西村 聡悟君のお母さん

子どもから詳しく聞けないさまざまなことを、納得いくまで話してもらえる貴重な会です。建築学科棟はとても魅力的ですね。



■ 情報科学科 1年
今野 将志君のお母さん

ふだん子どもがどんな環境で学んでいるか知りたくて参加しました。気になる就職の情報もきちんと把握したいと思います。



■ 情報科学科 4年
山本 麻理絵さんのご両親

参加するたびにキャンパスの良好な雰囲気感到感しています。海外研修などで国際人育成に積極的なところも嬉しいですね。



■ 情報通信工学科 3年
興野 巧君のご両親

茨城県から毎年来ています。今回は企業が求める人材など就職関連情報や、大学院進学について詳しく知ることができました。



■ 自然科学科 3年
中野 大樹君のご両親

Uターン就職の情報を知りたくて参加。今日はその後、食事でもしながら、息子の思いをじっくり聞いてみようと思います。

横浜キャンパス



■ 環境創生学科 2年
長倉 悠真君のご両親

保護者に対するこうした会では、子どもに直接聞きづらいことでも、大学がきちんと説明してくれるので大変ありがたい。



■ 環境創生学科 1年
石田 雅代さんのお父さん

子どもの自主性を尊重し、やりたいことに取り組んでほしい。この大学は学生の主体性を伸ばしてくれそうですね。



■ 環境マネジメント学科 2年
菊元 健太君のご両親

インターンシップや就職のことなど、子どもの将来に関わる話が聞けました。進学も含めて多様な選択肢が示されました。



■ 社会メディア学科 3年
岡本 佳子さんのお父さん

学習設備やネットワーク環境が充実していますね。娘は来年就活なので、就職サポートの仕組みについて聞きに来ました。



■ 社会メディア学科 3年
菊地 勇太郎君のお母さん

来年卒業ということもあり、気になるのはやはり就職。連絡会は詳しいお話を聞くことのできる貴重な機会だと思います。



■ 情報システム学科 2年
高橋 祐哉君のご両親

自分の学生時代、親と大学との関係は親密でなかった。連絡会のおかげで初めて横浜キャンパスに来ることができました。

参加された保護者の方々の感想

等々力キャンパス



■ 都市生活学科 3年
宮島 萌絵さんのお母さん

先生方の説明がとても丁寧で前向きだったので安心しました。未来の渋谷に関する研究プロジェクトにも力を入れているんですね。



■ 都市生活学科 3年
船倉 久禎君のご両親

一人暮らしをさせているので、地方から毎年参加しています。不安なことは個人面談の際に解消することができました。



■ 児童学科 2年
奥村 悠さんのご両親

静岡県在住。地元での保護者会に参加したことはあったが、今回初めて大学に。先生方と直接話ができるのが良かったですね。



■ 児童学科 4年
上田 友紀さんのお父さん

海外インターンシップの話が興味深かった。本人も海外でのインターンを希望しており、できればその思いをかなえたいと思いました。



平成28年度 就職動向と支援

就職環境の変化

景気の上昇傾向を受けて、平成29年3月卒業予定学生の新卒求人倍率(リクルートワークス研究所調べ)は1.74倍(昨年1.73倍)となり、昨年と比較しても一人当たりの求人数はわずかですが増加の傾向にあります。

またここ数年毎年のように、就職活動の時期が変更になっています。求人情報の公開時期は昨年度同様、大学3年生の3月でしたが、採用選考時期は大学4年生の8月であったのが6月にと若干、早期化へと変更になりました。本学でもこの動きに対応すべく正確な情報を把握した上で、インターンシップへの参加支援強化やガイダンスなどでの学生へ意識付けの徹底、支援イベントの時期や内容変更をはじめとしてさまざま対応を行ってまいりました。その結果、若干の混乱はありましたが今年度も学生から多くの良い結果報告をうけることができています。ただ、ここ数年本学の学生に限らない傾向ですが、複数の内定を得る学生と、なかなか内定を獲得することができない学生との差が大きくなっていると感じています。今後も引き続き全学生に対しても、準備の大切さを伝えていきたいと思っております。

学生が内定を獲得するために、「(基礎力+専門力)×就職活動力」を高めることが必要であると本学のキャリア関連の担当者と共有しています。これは低学年時から面接や応募書類作成、筆記試験対策などの「就職活動力」を高める対策を行うということではありません。低学年時にはキャリアの意識を高める内容の授業やガイダンスを行い、「基礎力」を高める授業や課外活動への取り組みの重要性、インターンシップへの積極的な参加の効果を伝えます。また、学年が上がってからは全員が研究室に配属される本学の強みを生かし「専門力」を高めることを意識するように伝えていきます。就職活動を迎える時期には、就職指導の専門家が設計した「就職活動力」を高めるプログラムを多数開催し、そのプログラムに積極的に参加することで良い結果につながっています。

また、お感じの方も多いかと思いますが、ここ最近の一つの特徴として社会からはグローバル化へ対応できる人材の育成への求めが強まってきています。海外インターンシップの推進や英会話力を高める支援をはじめとするグローバル化への対応も一層進めております。

来年度、平成30年3月卒業生は採用選考時期が今年度と同様となる予定です。就職活動の時期の変更はありませんが、国内外の経済や政治の変動による環境の変化の可能性は高まっていると思います。学生が変化に戸惑わないように本学としても十分に対策をしていきます。保護者の皆様からも学生への直接的、また情報提供などの間接的なご支援も一層賜りますようお願いいたします。

本学の取り組み

従来の就職支援業務の枠を超えて、キャリア全般に関わる幅広く充

実したサービスを提供できる「キャリア支援センター」を各キャンパスに設置しています。

各キャンパスのキャリア支援センターには専門の相談員が常駐し、就職の相談のみならず、職業選択や進学など、将来の進路についての確かなアドバイスを受けることが出来ます。常駐しているスタッフの多くがキャリアカウンセラーの有資格者であり、キャリアに関わることはどんなことでも安心して相談をする環境ができています。卒業生や先輩学生による密度の濃い情報をはじめ、各社の求人、公務員、Uターン、就職活動支援サービス会社の各種資料なども豊富に提供しています。

また、各学科では就職担当教員がキャリア支援センターと連携して強みに学生をバックアップし、学科の強みや特徴を活かして、一人ひとりのニーズにあった支援を展開しています。就職支援行事は学内で実施するものだけで100回以上にのぼり、徹底してキャリアについて考える機会をつくっています。更に本学の前身である武蔵工業大学時代からの強みである「社会で活躍する卒業生」のご協力を得て、学部・学科ごとに企業・業界セミナーや相談会を実施するなど、充実した支援体制を整えています。

もちろん就職に関する個別相談も充実しており、カウンセラーによる面接指導や履歴書添削だけでなく、自己分析等の指導も積極的に行い、基礎から応用まで、幅広い指導をしています。

それ以外にも、本学の学生を指定して寄せられる独自の求人だけを検索出来るシステムなどにより、内定獲得を目指す学生を強力に支援しています。

平成28年度の状況

今年度の就職状況は、文部科学省発表の平成28年10月時点での国公私立大学の平均内定率は「71.2%」となりました。本学では10月時点で学部生でも8割を超え、大学院生では約9割の決定率となっております。人間科学部の保育業界希望者は、これからが選考のピークを迎えることを考えましても、全国平均に比べて十分健闘してはおりますが、本学としましては、まだ活動を継続している学生に対しての支援は最優先と認識しております。これからも学内での企業セミナーや継続して求人をしている企業の情報を収集し一層の就職活動の支援を実施してまいります。これからの時期、就職活動学生の「モチベーションの維持」「活動を続ける姿勢」が重要なポイントとなります。

最後に

学生の進路に関する意識が多様化し、変化の大きな就職環境に対応すべく、今後ますますキャリア支援業務に注力してまいりますので、引き続き保護者の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成28年度 主な就職内定先企業等 (平成28年12月1日現在)

※数値は就職内定者数

工学部・知識工学部・大学院 工学研究科		環境情報学部・環境学部・メディア情報学部 大学院 環境情報学専攻		都市生活学部・人間科学部 大学院 都市生活学専攻	
■輸送用機器 本田技研工業……………10 スズキ……………8 日野自動車……………8 いすゞ自動車……………8 トヨタ自動車……………4 富士重工業……………3 日産自動車……………1 マツダ……………1 ■電気機器・精密機械 富士通……………7 富士通ゼネラル……………7 日立製作所……………6 キヤノン……………6 三菱電機……………5 パイオニア……………3 富士電機……………3 パナソニック……………2 京セラ……………2 オリオンパス……………2 ソニー……………1 NEC……………1 沖電気工業……………1 コニカミノルタ……………1 ■情報通信サービス NSD……………6 ソフトバンク……………2 SCSK……………2 NTTデータ……………1 LINE……………1	富士ソフト……………1 日立ソリューションズ……………1 野村総合研究所……………1 ヤフー……………1 三菱総研DCS……………1 ■運輸 東京急行電鉄……………5 JR東日本……………4 JR東海……………2 ■建設 大成建設……………5 竹中工務店……………5 鹿島建設……………4 東急建設……………4 大和ハウス工業……………3 清水建設……………2 大林組……………2 積水ハウス……………1 ■公務 東京都庁……………9 横浜市役所……………9 国土交通省……………1 ■その他 東京電力ホールディングス……………7 凸版印刷……………3 UR都市機構……………2 三菱マテリアル……………2 電源開発……………1 日本郵便……………1 NEXCO中日本……………1	■製造業 日立製作所……………3 富士通……………3 タカラスタンダード……………3 NEC……………2 ソニー……………1 パナソニック……………1 キヤノン……………1 スズキ……………1 凸版印刷……………1 東芝テック……………1 岡村製作所……………1 ユニチャーム……………1 理想科学工業……………1 トップラン・フォーams……………1 共同印刷……………1 オンキヨー……………1 東急テクノシステム……………1 スノーピーク……………1 ■建設・不動産・住宅 大和ハウス工業……………2 協和エクシオ……………2 大成建設……………1 大東建託……………1 高砂熱学工業……………1 飛鳥建設……………1 東急リアルブル……………1 ■情報通信サービス アルファシステムズ……………8 CIJ……………4	リコージャパン……………3 インクリメント・ピー……………3 アイネス……………2 さくら情報システム……………2 東京ガスネット……………2 NTTドコモ……………1 TIS……………1 伊藤忠テクノソリューションズ……………1 富士通マーケティング……………1 ソフトバンク……………1 NSD……………1 DTS……………1 三菱電機ソフトウェアシステムズ……………1 みずほ情報総研……………1 ■金融・保険業 日本生命保険……………1 住友生命保険……………1 スルガ銀行……………1 横浜信用金庫……………1 ■公務 大田区役所……………1 浜松市役所……………1 日本通運……………2 セコム……………2 東急ストア……………2 JR東日本……………1 イベックスグループホールディングス……………1 国土防災技術……………1 ANA大阪空港……………1	■建設・不動産・住宅 住友林業ホームテック……………3 東急コミュニティー……………2 東急住宅リース……………2 旭化成リフォーム……………2 野村不動産パートナーズ……………2 積水ハウス……………1 三井住友建設……………1 清水総合開発……………1 東京セキスイハイム……………1 三菱地所コミュニティ……………1 ■商業施設・ディスプレイ 西武プロパティーズ……………3 スペース……………2 イオンモール……………1 丹青社……………1 ルミネ……………1 三井デザインテック……………1 ハルコスベースシステムズ……………1 住商アーバン開発……………1 高島屋スペースクリエイツ……………1 中日本エクス……………1 ■運輸・製造・卸売・小売 ニプロ……………1 丸井グループ……………1 ユニチャーム……………1 日通商事……………1 三菱電機照明……………1 ユナイテッドアローズ……………1 資生堂ジャパン……………1	高松琴平電気鉄道……………1 ■金融 明治安田生命保険……………1 三井住友銀行……………1 東京都民銀行……………1 横浜信用金庫……………1 ■公務(事務・福祉・保育) 世田谷区役所……………6 渋谷区役所……………3 横浜市役所……………2 神奈川県庁……………2 北区役所……………1 文京区役所……………1 新宿区役所……………1 墨田区役所……………1 港区役所……………1 川崎市役所……………1 町田市役所……………1 西東京市役所……………1 川崎市役所……………1 市川市役所……………1 佐倉市役所……………1 さいたま市役所……………1 戸田市役所……………1 ■保育業界 保育園・幼稚園・施設等……………40 ■その他 日本郵便……………1 テイクアンドグウィーニーズ……………1 Jストリーム……………1 JALスカイ……………1

採用活動・進学スケジュール(例)

学部3年生 / 修士1年生												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就活ポイント	●自己分析		●インターンシップエントリー参加				●業界研究・職種研究					
企業			インターンシップ ナビプレオープン	インターンシップ 説明会セミナー		インターンシップ			インターンシップ			就職ナビ クランドトオープン
公務員 (受験する職種等によりスケジュールが異なりますので、参考としてご覧ください)					インターンシップ						公告 国家公務員	公告 地方公務員
進学	大学院に進学するか、就職するか熟慮(年内を目処に) 進学の意思を決定次第、志望校の選定および受験科目の確認。受験勉強開始										指導教授等と相談の上 進学先の決定	

※対象は平成29年3月以降の卒業予定者となっております。

学部4年生 / 修士2年生												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就活ポイント	●自己分析		●企業研究					内定				
企業	●エントリー ●会社説明会		●採用試験				10月以降も継続して採用を行っている企業があります。 内定を獲得するまで粘り強く取り組みましょう。					
公務員 (受験する職種等によりスケジュールが異なりますので、参考としてご覧ください)	受付期間 国家公務員		1次試験		2次試験		最終合格					
	受付期間 地方公務員		1次試験		2次試験		最終合格					
進学 (本学の場合)	大学院推薦入試 (A日程) 願書提出/試験				大学院一般入試 (B日程) 願書提出/試験					大学院一般入試 (C日程) 願書提出/試験		

本学のキャリア支援スケジュール

●キャリア支援とは、就職、進学など卒業後の進路決定の支援や、将来のために役立つ準備を行う機会や情報の提供などを行うことと考えています。

世田谷キャンパス (SC)	1 年生	2 年生	3 年生							
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
キャリア支援	技術系の強みを生かせるよう普段から授業をしっかり頑張ろう!		技術系の素養を高めるため、専門科目の学修に注力(技術系就職の基礎)							
	4月: ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 ・進路適性検査のフォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオガイダンス 4月/5月: インターンシップ対策講座 8月/9月: インターンシップ等に積極的に参加 9月: ・キャリアポートフォリオガイダンス	4月: ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 ・進路適性検査のフォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオガイダンス 4月/5月: インターンシップ対策講座 8月/9月: インターンシップ等に積極的に参加 9月: ・キャリアポートフォリオガイダンス	就職支援プログラム 実践直結プログラム	就活基礎力養成			公務員対策 いざ! 本番に向けて、本エントリー攻略			
就職支援プログラムには全学年参加可能です。		・就活入門ガイダンス ・インターンシップガイダンス ・インターンシップのための企業説明会 ・SPI模試・解説 ・公務員ガイダンス ・マナー講座		・公務員試験対策講座(集中講座) ・就職ガイダンス ・進路適性検査 ・就職セミナー ・履歴書・エントリーシート対策講座 ・SPI模試 ・面接グループディスカッション対策講座 ・内定者懇談会						
キャリアアップ講座(全学年対象となります): 5月~12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 他										

横浜キャンパス (YC)	1 年生	2 年生	3 年生							
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
キャリア支援	進路・勉強方法を考える		着実に就活力をつけていくための基礎力講座<履歴書・ES対策>							
	4月: ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 ・進路適性検査のフォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオガイダンス 4月/5月: インターンシップ対策講座 8月/9月: インターンシップ等に積極的に参加 9月~: ・キャリアポートフォリオガイダンス ・キャリアデザイン基礎	4月: ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 ・進路適性検査のフォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオガイダンス 4月/5月: インターンシップ対策講座 8月/9月: インターンシップ等に積極的に参加 9月~: ・キャリアポートフォリオガイダンス ・キャリアデザイン	就職支援プログラム 実践直結プログラム	就活基礎力養成			本エントリー攻略、実践対策講座			
就職支援プログラムには全学年参加可能です。		・就活入門ガイダンス ・インターンシップガイダンス ・SPI模試・解説 ・マナー講座 ・公務員ガイダンス ・就職セミナー		・進路適性検査 ・SPI模試 ・履歴書・エントリーシート対策講座 ・文章力強化講座・業界・会社の選び方 ・面接(個人・集団)対策講座 ・グループディスカッション対策講座 ・内定者懇談会 ・マナー講座	公務員対策 ・公務員試験対策講座(集中講座)	進路個人面談			・SPI対策 ・民間試験対策講座(集中講座)	・3年生全員対象 1人1人の進路に合わせて進路希望登録書による個別指導
キャリアアップ講座(全学年対象となります): 5月~12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 他										

等々力キャンパス (TC)	1 年生	2 年生	3 年生							
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
キャリア支援	授業を通じ、社会のトビラを開けてみよう!		社会人へのトビラ「社会人基礎力」を向上させよう!							
	4月: ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 4月/9月: キャリアポートフォリオガイダンス(フレッシュヤーズゼミと連動) 7月: インターンシップガイダンス 8月/9月: インターンシップ等に積極的に参加	4月: ・キャリアガイダンス ・進路適性検査 4月/9月/12月: キャリアポートフォリオガイダンス(キャリアデザイン(1)と連動) 7月: インターンシップガイダンス 8月/9月: インターンシップ等に積極的に参加	就職支援プログラム 実践直結プログラム	就活基礎力養成			公務員対策 いざ! 本番に向けて! 本エントリー攻略			
就職支援プログラムには全学年参加可能です。		・キャリアデザイン(3)(都市生活学部) 特別講義 ・就活入門ガイダンス ・就職講演会 ・インターンシップガイダンス ・SPI模試・解説		・公務員試験対策講座(集中講座)	・キャリアデザイン(4)(都市生活学部) ・就職ガイダンス ・進路適性検査 ・就職講演会 ・就職セミナー ・履歴書・エントリーシート対策講座 ・SPI集中対策			資格 ・各種資格対策講座(宅建講座)	進路個人面談	
キャリアアップ講座(全学年対象となります): 5月~12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 他										



※対象は平成29年3月以降の卒業予定者となっております。

3 年 生				4 年 生											
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				今までの学修を生かし、卒業研究に注力(研究内容をしっかりアピールできるように)								内定獲得まで諦めない支援			
最終総仕上げ				進路相談強化				個別指導の徹底							
<ul style="list-style-type: none"> 就職ガイダンス(リターンガイダンス含む) 履歴書・エントリーシート対策 筆記対策(SPI、一般常識) ・マナー講座 面接・グループディスカッション講座 				<ul style="list-style-type: none"> 求人紹介など内定直結型の支援を行います。 				<ul style="list-style-type: none"> 大学宛求人票と進路希望登録書を有効活用し、志望・適正に応じた求人の紹介を徹底的に行います。 							
公務員対策 <ul style="list-style-type: none"> 公務員試験対策講座(集中講座) 公務員試験模擬試験 面接カード記入ガイダンス 															
進路個人面談 <ul style="list-style-type: none"> 3年生全員対象 学校推薦対象者決定 大学院進学希望調査 															
業界研究会				企業研究会				企業研究会							
<ul style="list-style-type: none"> 実際にお仕事をされている方をお招きして学内において各業界の説明会を行います。 				<ul style="list-style-type: none"> 人事担当者、OB、OGをお招きして学内において説明会を行います。 				<ul style="list-style-type: none"> 優良企業をお招きして学内において説明会を行います(随時)。 							

3 年 生				4 年 生											
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				徹底的な書く・話すチカラの強化…個人面談にて、履歴書を元に話す練習 <面接対策>								内定獲得まで諦めない支援			
最終総仕上げ				進路相談強化				個別指導の徹底							
<ul style="list-style-type: none"> 履歴書・エントリーシート対策 面接・グループディスカッション講座 学校推薦ガイダンス 				<ul style="list-style-type: none"> 進路希望登録書を元に面談 求人紹介など内定直結型の支援を行います。 				<ul style="list-style-type: none"> 大学宛求人票と進路希望登録書を有効活用し、志望・適正に応じた求人の紹介を徹底的に行います。 							
公務員対策 <ul style="list-style-type: none"> 公務員試験対策講座(集中講座) 論述・面接対策 公務員模擬試験 								ハローワークとのジョイント <ul style="list-style-type: none"> ハローワークの専門相談のブースを設置 							
模擬面接&グループディスカッション講座 <ul style="list-style-type: none"> 採用コンサルタントによる徹底講座 															
業界研究会				企業研究会				企業研究会							
<ul style="list-style-type: none"> 実際にお仕事をされている方をお招きして学内において各業界の説明会を行います。 				<ul style="list-style-type: none"> 人事担当者、OB、OGをお招きして学内において説明会を行います。 				<ul style="list-style-type: none"> 優良企業をお招きして学内において説明会を行います(随時)。 							

3 年 生				4 年 生											
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				トピラの向こうへ! 就職活動スタート!								内定獲得まで諦めない支援			
				保育業界採用スタート→											
いざ!本番に向けて!本エントリー攻略		公務員対策		進路相談強化				個別指導の徹底							
<ul style="list-style-type: none"> エントリーシート対策 面接対策各種集中指導 グループディスカッション対策 		<ul style="list-style-type: none"> 公務員試験対策講座(集中講座) 		<ul style="list-style-type: none"> 履歴書・就職セミナー エントリーシート/グループディスカッション/面接対策 採用情報提供 ・個別面談 				<ul style="list-style-type: none"> 個別面談 個別指導 キャリアカウンターで随時相談受付 							
進路個人面談															
<ul style="list-style-type: none"> 進路に合わせて個別指導 進路希望登録書 															
業界研究会				企業研究会				企業研究会							
<ul style="list-style-type: none"> 実際にお仕事をされている方をお招きして学内において各業界の説明会を行います。 				<ul style="list-style-type: none"> 人事担当者、OB、OGをお招きして学内において説明会を行います。 				<ul style="list-style-type: none"> 優良企業をお招きして学内において説明会を行います(随時)。 							

二子玉川夢キャンパスの巻

夢を「さがす」場所・夢に「であう」場所・夢を「ためす」場所。それが、東京都市大学が二子玉川駅前にオープンした、サテライトキャンパスの新しいカタチ「夢キャンパス」です。駅前には再開発で大規模商業施設が立ち並び、北に丘陵、南に多摩川と環境抜群。アクセスも渋谷から東急田園都市線でわずか15分。常に「住みたい街ランキング」の上位に入る街で、学生たちの「夢」が生まれ、育てられています。

夢キャンパスHP <http://yumecampus.tcu.ac.jp>



2015年6月1日に、二子玉川駅前の最新複合ビル「二子玉川ライズ」のオフィス棟8階にオープンした「夢キャンパス」。ここでは現在、学生たち自身が主体的に「夢を叶える場所」として、自らプロジェクトを立ち上げ、さまざまなイベントや活動に取り組んでいます。

この「夢キャンパス」は、東京都市大学が推進する創立90周年(2019年)、100周年(2030年)に向けて策定した中長期「アクションプラン2030」としてスタートしました。世田谷、横浜、等々力の3つのキャンパス、そして王禅寺キャンパス(原子力研究所)と、主に東急線沿線に分散する都市大の主要拠点を、有機的に結びつける「ハブ」が必要ではないかというコンセプトのもとに構想されています。施設は敷地面積約574㎡、最大座席数180席の規模のオープンスペースで、イベントに合わせて、テーブルや椅子、パーティションなどを自由にレイアウトできるようにしています。



夢キャンパスの窓から見える多摩川と沈む夕陽。遠くには、富士山を眺めることができます

何でもやってみよう!! からスタート

オープンしたばかりの一昨年は、「教育研究活動」、「子どもたちに学び喜びを伝える活動」、「地域との連携活動」、「都市大グループの連携活動」という、運営の4つの柱を踏まえて、学生主体で「できることから、何でもやってみよう!!」という方針でスタート。その結果、1年間で130件のイベント、集客10,000人超を実現しました。イベントの内容は多彩で、どれも都市大らしさを感じられるものばかりです。



講演会 「伊藤若冲 動植物絵の色と描写」

生誕300年を迎えた伊藤若冲のさまざまな謎を、若冲研究の第一人者であり、東京都市大学OBでもある(独)国立文化財機構の早川泰弘氏が解説。



僕らの夢を乗せた電車が走り続ける=鉄道研究部=

都市大の鉄道研究部が、「夢キャンパス」内でNゲージを走らせました。子どもから大人まで、鉄道や模型に興味がある人たちに大人気を博しました。



雨降り実験&大気圧実験

都市大・原子力研究所の岡田准教授、気象予報士、学生が一体となって、実験器具を用いて「雨が降る仕組み」、「大気圧の減少」を体感。参加した子供たちから、歓喜の声が上がりました。

過去に開催された 主なイベント

夢

をさがす にであう をためす

3Dプリンタで オリジナルプレートを作る

都市大・医工用学科の和多田教授による小学生を対象とした3Dプリンタ活用イベント。実際にCADを使って、名前入りプレートを作成しました。



バード・カフェ 鳥のかたち 聞いて見て作って鳥を知る

都市大の生物、芸術、情報デザインの専門の教員が担当。絵に描いたり、粘土で作ったりしながら、身近な鳥の生態や仕組みへの理解を深めました。



都市大生とLet's分解 ～ノートパソコン編～

普段使っている製品のの中身は? という子どもたちの素朴な疑問解決を都市大生がサポート。ノートパソコンを分解し、その仕組みを解説しました。



オープン当日はギャラリーで盛大にオープニングイベントが開催されました



その他の テーマ

- 都市大ドリームフェス わくわく★科学体験 ●都市生活学部 学部展「都市生活学がひらく未来」 ●夢キャンコミュニケーションリーダーによる夏の科学緑日 ●Science for Kids
- 見えないものをみてみよう ●コンクリートマグネットをつくらう ●多摩川子どもシンポジウム in 世田谷 ●日経カフェ ●才能の芽を育てる体験学習
- 花筏イルミネーション ～二子玉川ライズを「光る花」でうめつくそう!! ●アニメーションができるまでを学ぼう! & シンドバッド鑑賞会 ●プログラミング体験ワークショップ



都市大生が主体となりイベントを発案・運営する「夢キャンコミュニケーター」が昨年8月に発足。地域の方々や子供達、そして学内生の夢に翼を与える拠点になることを目指して、11月30日に夢キャンコミュニケーター×社会人とのワークショップを開催しました。

インターンシップとして大活躍する学生たち

取材当日も、イベントが開催されていました。その名も「Tech Kids School (テックキッズスクール)」。インターネットメディア「Ameba」を運営するIT企業「株式会社サイバーエージェント」による、小学生を対象にコンピュータのプログラミングを教えるイベントです。「夢キャンパス」が掲げる4つの目的の1つ「子どもたちに学ぶ喜びを伝える活動」の一環としてスタートしました。このイベントには工学部・知識工学部・メディア情報学部を中心とする都市大の学生が、数多くインターンシップとして参加しています。実際に自分たちが学んできた知識と技術を子どもたちに伝える姿は、生き生きしていました。



テックキッズスクールの一コマ。教わる側も、教える側も笑顔になります



社会メディア学科・4年 高橋さんの夢は、郷里の仙台でソーシャルデザインの仕事をすること。ソーシャルデザインとは一言でいえば、人間の「創造力」で、さまざまな社会の課題解決に挑む活動です。夢キャンコミュニケーターとして企画から携わっていくことは、夢の実現の第一歩だと捉えています。



機械システム工学科・3年橋本君は、学生自身がやりたいことがやれる環境を作りたいと思い活動をしていました。そんな中、企画室の方と出会い、現在仲間と企画室のバックアップをもらいながら夢キャンコミュニケーターの活動を進めています。はじめに実施した「PCを分解する」企画で私がやりたかったことを形にすることができました。詳しくはwebで!



自然科学科・2年の西田君の夢は、モロッコで開催される「サハラマラソン」への挑戦。約230kmを衣食住のための荷物を背負って、7日間で走破するウルトラマラソンです。出場には、資金はもとより、体力・メンタルを鍛える必要がありますが、「夢キャン」の皆の応援が、後押ししてくれています。

館内は、誰もが利用できるオープンなスペース。自由にレイアウト変更して、複数のイベントや会合、自習ができるようになっています。この設計に携わったのも都市大建築学科出身のOGです。「いままで、どこにもなかったようなサテライトキャンパスを作りたい」という思いを込めました。また、3Dプリンタやデジタルサイネージなどの最新設備、ものづくりや実験のための装置なども充実。「公正・自由・自治」を建学の精神として掲げる都市大らしさが詰まっています。



3Dプリンタ

コンピュータの図面データを元に、立体物を造形できる3Dプリンタ。学生が自身で設計したものを出力したり、小学生向けに自分の名前入りプレートを作成するイベントなどに活用されています。



デジタルサイネージ

エントランスに設置された4.8m×1.4mの8面ディスプレイ。ここには、夢を追い続ける人たちの映像が、心地良い音楽とともに映し出されています。また、子どもを対象とした将来の「夢の投稿」も実施。ちなみに昨年度の第1位は医者、2位はスポーツ選手、3位は芸能・音楽家でした。

学修や研究に打ち込むことも大切ですが、学科や学年を超えた仲間と切磋琢磨する課外活動もまた、人間形成、そして生涯つきあえる良き友を得るための有益な場です。今回は世田谷キャンパスの「ジャグリングサークル Akantha」、横浜キャンパスの「演劇サークル 劇団溪谷」、等々力キャンパスの「ダンスサークル UP BEAT」の活動をご紹介します。



ジャグリングサークル Akantha

あくまでも自由かつ自然体で。でも、絆は深く強く。



顧問	武 哲夫(エネルギー化学科 教授)
学生責任者	木下 修司(情報システム学科 1年)
部 員 数	28名(男子部員22名、女子部員6名)
主な活動	4月 新入生歓迎会 / 野毛大道芸鑑賞 6月 横浜祭出演 8月 夏合宿 11月 世田谷祭・等々力祭出演 12月 引き継ぎ 3月 卒業生を送る会

アカンサスの花言葉「芸術、技巧」を胸に、「技」を磨く

街の喧騒の中で、急ぐ足をふと止めたくなくなってしまふ、人間味あふれる大道芸……。ジャグリングは、そんな大道芸の1ジャンル。狭義では、複数の物を空中に投げたり取ったりを繰り返し、常に1つ以上の物が浮いている状態を維持し続ける技術を意味します。現在では解釈が拡大され、手に保持できる程度の道具を使った特殊な芸全般を意味し、ジャグリングサークル「Akantha」もまた、広義の解釈の上で、自由闊達な活動を展開しています。

メンバーの得意演目は、デビルスティック、ヨーヨー、中国独楽、ポール、一輪車、コンタクトボールと多彩。サークル名の「Akantha」は、アカンサスの花言葉である「芸術、技巧」にちなんだもので、メンバーは日々「技」の修得・向上に切磋琢磨しています。

「実は技だけでなく笑いを取るのも重要。両方が決まって、思い描いた通りの反応があった時は最高の気分になります」(情報通信工学科・3年 武藤 直也君)

学年・学科も違い、演目も異なる個性豊かなメンバーを牽引するのは、高校時代にヨーヨーの世界大会に出場したこともあるという木下 修司君(情報システム学科・1年)。サークルの魅力を次のように語ってくれました。

「当サークルが目指すところは、自由かつ自主的であることです。それだけに、週1回の集合活動以外は、基本的に自主練習が中心となります。また、未経験者が多いのも大きな特色で、より多くの人にジャグリングの楽しさを存分に味わってほしいと思っています」

未経験者の新入部員もジャグリングの楽しさにはまってもらうようで、毎年



2泊3日、千葉県・岩井海岸での夏合宿。バーベキューと火花を満喫。宿泊施設近くの体育館を借りて練習にも励んだが、最後は皆でバレーボールを楽しみました!



ホームカミングデーでのパフォーマンス。OB・OGとの交流を深めました



ステージよりも練習が好き!! という内山未里さん。公演の2週間前にできるはずの演技ができなくなった経験も、見事に克服。



パフォーマンスを披露した経験は豊富にあっても、場馴れしないという武藤直也君。でも、失敗をリカバーするアドリブは得意らしい。



前代表という大役を果たし、ほっと一息ついた安達真悟君。これからはパフォーマンスで培った度胸で、就活に邁進。



小学生の時に一輪車で大会に出たことがあるという関谷優佳さん。以来、封印していたが、大学に入って、パフォーマンスを復活。



個人的には、ヨーヨーの国内大会での優勝を狙う木下修司君。代表として、自ら練習に励み、背中では皆にブレンジャーをかける?!



最大の思い出は今春、大勢の新入部員が入ってくれたこと。サークルの将来と発展を心から願う、稲葉理沙さんは、皆のお姉さん役。



大学の体育館での練習風景。得意技を、メンバーに披露



1人が練習している時は、メンバーが観衆。一番厳しい観衆かも?!

11月に開催される世田谷祭・等々力祭のころには、メンバー全員が人前で演技を披露できるようになるといいます。

人前でパフォーマンスする際の緊張感がたまらない

実際に、未経験者だったメンバーに、その魅力を聞いてみましょう。

「高校時代に大道芸同好会に所属していた友人に、ちょっとだけ手ほどきしてもらい、その面白さを体感したことがあります。大学で本格的にチャレンジして、最初に技を達成できた嬉しさは、まるで子どものころに初めて逆上がりのできた瞬間のようでした」(自然科学科・1年 内山 未里さん)

「中学・高校は吹奏楽部一筋。大学では違うことをとを考えていたところ、楽しそうな雰囲気このサークルに遭遇。コンタクトジャグリングというクリスタルボールを身体から離さずに操る演目に挑戦し、技+手品+パントマイムを総合したような世界の虜になりました」(情報通信工学科・3年 稲葉 理沙さん)

毎年春には、先輩たちが新入部員を引率して、国内外の実力派パフォーマンスが集結することで有名な横浜市中区で行われる「野毛大道芸」を見学。また、道具もジャグリング専門ショップまで先輩と一緒に買いに行ってくれます。こうしてジャグリングの魅力を共有しつつ、絆を育んでいるのです。

「ジャグリングだけではなく、先輩が勉強を教えてくれることもあります。とにかく皆、仲が良くって助け合いの精神を発揮しています」(機械システム工学科・1年 関谷 優佳さん)

とはいえ、人前で演技をする際には、やはりハラハラドキドキの連続。それだけに、成功し、ウケたときの喜びはひとしおだといいます。

「横浜キャンパス近くの商店街のイベントに参加したことがあるのですが、目上の世代の人たちに混じって、ともに打ち合わせし、盛り上げようと頑張った経験は忘れられません。イベントの最後に、商店街の方が握手を求めてくれた際には、涙が出そうになりました」(都市工学科・3年 安達 真悟君)

その他にも、ボランティアで保育園の子どもたちの前でパフォーマンスを行い、大喜びされたこともいい思い出です。

「今後もそういう機会を増やしていきたい。そして、現在の愛好会というポジションから、同好会に昇格させたい」と部長の木下君は意気盛んです。



世田谷祭では特設ステージでパフォーマンスを披露。数少ない機会だけに緊張するも、観衆の拍手でノリノリになっちゃいます



演劇サークル 劇団溪谷

プロの劇団とは違う、学生演劇の真髄を目指す



顧問
中村 雅子 (社会メディア学科 教授)
学生責任者
有川 茉莉子 (社会メディア学科 1年)
部員数
12名 (男子部員8名、女子部員4名)
主な活動
4月 新入生歓迎公演
6月 横浜祭公演
8月 夏合宿
11月 等々力祭公演
12月 ミニ公演
1月 単独公演
3月 春合宿

シナリオから演出、舞台づくりまでを学生自身で担当

2015年4月に創立したばかりの劇団溪谷。プロではないけれど、でもプロにはできない学生演劇ならではの楽しさとユニークさを追求しているサークルです。創立メンバーの1人でもある田川 滉一君 (社会メディア学科・4年)は、その創立秘話を明かしてくれました。

「もともと、何人かの仲間と2013年頃から集まっては演劇の話をしていました。言い出しっぺは、等々力キャンパスの人だったので、それならサークル名は等々力溪谷にちなんで『劇団溪谷』にしようってことになりました。ところが、その彼が事情で参加できなくなり、他のメンバーが多く在籍する横浜キャンパスを中心に活動することになりました」

新しいサークルだけにメンバーには1年生が多く、上下関係がない自由な雰囲気。皆で議論・協力しながら、フレッシュな活動を実践しています。

そんな彼らのメインイベントは毎年10月に行われる等々力祭での公演。等々力キャンパスには本格的な児童演劇、人形劇、ストーリーテリング、ダンス、パフォーマンスなどの公演ができる「スタジオシアター」が備わっており、日々の練習の成果を発表するのに、格別の舞台となっています。

今年は、明るいコメディタッチのものと、シリアスなサスペンス風と、2本の毛色の違った芝居を披露しました。シナリオ・演出を務めたのは、現部長の有川 茉莉子さん (社会メディア学科・1年)と伊藤 明津君 (社会メディア学科・1年)。2人はそれぞれ自分のシナリオの主人公を演じました。

「僕が書いたのは、明るい方。RPG (ロールプレイングゲーム) を意識した冒険ものに仕上げました。登場人物は5名で、4人がボケで、1人がツッコミまくるという設定です。笑いどころで、ちゃんと観客が反応してくれたので、してやったりの気分でした (伊藤君)」

「私のシナリオは、密室に閉じ込められた女性1人と男性3人が、その場を打



横浜キャンパスでの練習風景。台本を確認しながら、真剣そのもの



二子玉川にある夢キャンパスで打ち合わせや演劇の練習。アクセスがいいので、どのキャンパスの学生にも便利



就職も決まり、卒業までの短い時間を演劇の余興に浸りたいという田川漉一君は、創立メンバーの1人。



等々力祭公演は、就活が忙しくて出演できず。常に笑顔の古侯都弥君(機械システム工学科・4年)は「メンバーは皆、変人?!」と論評。



幼い頃、落ち込んだ私を励ましてくれたアニメが大好き。夢は声優になることという、鈴木詩織さん(社会メディア学科・1年)。



高校時代から憧れていた演劇の世界を、ようやく大学で体感。会計担当も務めるまじめキャラ、東季幸君(社会メディア学科・1年)。



演劇経験を買われて部長に抜擢された有川菜里子さん。今後は他大学との交流にも力を入れたいといいます。



高校から演劇の世界に飛び込み、演じる時の表情がとても役に合っている植村承允君。(社会メディア学科・1年)



等々力祭公演では、1人5役を熟演。「この1年はお互いを知るいい期間だった」と語る御子柴渉君。



まさに陰の立役者。「公演は、もっとやれた気がする…」と、ちょっぴり辛口の副部長・滝りりかさん。



「よくよく考えてみると、モノづくりと、演劇のプロセスは似ている」と絶える理論派の青木太一君(機械工学科・1年)。



「絶対に裏方以外はやらない」という田内優花さん。笑いが絶えないメンバーとの交流で、学生生活を満喫中。



伝統を重んじていた高校の演劇部とは違い、皆で考え、自由闊達にできたことが嬉しいという伊藤明津君。



明るいうードメーカーとしてメンバーを引っ張って、真剣に取り組む一面を持つ土屋成哉君。(社会メディア学科・1年)

開するために試行錯誤するというストーリー。しかも、私が演じた女性は二重人格で、密室にした犯人も登場人物の中にいるという設定です。最後までどうなるかわからないスリリングな展開に仕上がったと思います(有川さん)

演劇を探究する中で、将来の夢を見出す

一方、総合芸術といわれる演劇には、音響・照明・大道具・小道具、そしてチラシやポスターを作る広報、公演時の受付など、さまざまな役割が求められます。そんな裏方仕事を専門にやりたいと、同サークルの門戸を叩いたのが、田内 優花さん(社会メディア学科・1年)。

「演劇経験はまったくありませんでしたが、何かを作るということに魅力を感じて入部しました。メンバーに1年生が多いこともあって、和気藹々の雰囲気の中で、演劇のいろはから教えてもらいました。等々力祭公演では、音響を担当。間違ったら大変なことになると、終始ハラハラドキドキでした」

実はメンバーの中には、演劇経験のない人が少なくありません。そんな彼らを陰から支えるのが、高校時代から演劇を続けているという副部長の滝りりかさん(社会メディア学科・1年)。等々力祭公演ではやはり裏方に徹し、舞台の演出効果を高めるとともに、演じるメンバーたちにアドバイスと叱咤激励を送り続けました。

「私の夢は、デザイナーになること。それも、ある特定のものをデザインするのではなく、あらゆるものをデザインしてみたいという壮大な夢を描いています。そんな私にとって、すべてを一から作っていく演劇は、極上の経験を与えてくれます。単に総合芸術だからというだけでなく、コミュニケーションや組織マネジメントのデザインにもつながるように思えるからです」

演劇を糧に将来を見据えている人は、他にもいます。

「僕は工学部なので、将来はモノづくりに携わりたいと考えています。でも、実際にモノを使うのは人間です。そういう意味では、演劇を通じて人間を知ることが、後々役に立つはずだと思っています。いわゆるヒューマンウェアやAI(人工知能)などが求められているのも、実はそういうことではないでしょうか(機械システム工学科・1年 御子柴 渉君)」

メンバーたちの演劇への探究は、常に未来を志向しているようです。



公演のためのポスターも、メンバーの手によってデザインされます。プロも顔負けの出来栄です!



等々力祭公演で披露した冒険ものお芝居。ポーズが決まって、笑いと拍手をとったところ!



シリアスタッチなお芝居での一コマ。密室の中で起こるさまざまなハプニングが観客を魅了しました

等々力
キャンパス

ダンスサークル UP BEAT

「アットホーム」な雰囲気大切にしつつ、熱気を放つ



顧問

高橋 うらら (児童学科 准教授)

学生責任者

江森 文香 (都市生活学科 2年)

部員数

21名 (男子部員8名、女子部員13名)

主な活動

4月 新入生歓迎会

5月 バーベキュー

6月 横浜祭

8月 夏合宿

11月 等々力祭

12月 クリスマス会

1月 新年会

3月 卒業生を送る会

プロのコーチのもとに、創造性豊かなダンスに取り組む

サークル名として名付けられた「UP BEAT」。日本語でいえば、「快活な」、「活気あふれる」ことを表します。その名の通り、エネルギーに満ちた活動を展開する同サークルは、大学がちょうど創立80周年を迎えた2009年、東京都市大学への校名変更とともに誕生しました。

等々力キャンパスには児童学科があるため、当初は女性のメンバーが大半を占めていましたが、現在では他のキャンパスからの参加も増え、男性メンバーの比率も高くなりました。その結果、「豊富なバリエーションが組めるようになった」と、前部長の亀田 恵梨さん(児童学科・3年)はいいます。

普段の練習は、基本的に週3日。そのうち月2回はプロのダンスコーチの指導のもと、かなり本格的な練習が行われます。ジャンルは主にヒップホップと呼ばれる1970年代にアメリカ・ニューヨークのアフロ・アメリカンやカリビアン・アメリカン、ヒスパニック系のコミュニティで生まれたダンスが中心で、いわゆるR&Bと呼ばれるジャンルも含まれます。

いずれも創造性豊かなダンスなのでハードルも高く、ダンス経験者が揃っているのかと思いきや、実は「このサークルで初めて」という学生が多いのには驚きました。

「高校時代は吹奏楽部。たまたまダンス部やチアダンス部と一緒に活動する機会があり、間近に楽しそうに踊る姿を見て、大学でチャレンジしてみようと思いました(児童学科・4年 田沼 陽花さん)」

「個人的には、めちゃくちゃ憧れの世界でした。しかし残念ながら、自分が住んでいた街では、そういう文化が活発ではありませんでした。それだけに、東京の大学に行って、絶対にやってみようと思っていました(児童学科・2年 榊 孝祐君)」

意欲満々の彼らにとって、実は未経験であることなど眼中にないようで、基本的な動きを覚える基礎練習、柔軟体操、筋トレ、リズム取りなどに真剣に取り



普段の練習では、週に数回、気持ちのいい汗を流します



楽しく厳しい夏合宿。ここでの成果を10月の等々力祭で披露



ダンスもスノーボードも、リズム感が大事なのは一緒



新たに部長に抜擢された江森文香さん。自分たちのダンスを際立たせるために、衣装にもこだわります。



前部長としての任務を終えて、ほっと一息。でも、ダンスへの情熱は、誰にも負けない亀田恵梨さん。



高校時代はハンドボール部に所属。憧れのアーティストのように踊りたいと、入部を決めた川松社一太君。



ダンスに青春を捧げてきたという、中根優芽さん(都市生活学科・2年)。就職しても、趣味でダンスを続けたいといいます。



サークルのモットーでもある「アットホーム」な雰囲気



未経験で入部するも、いまや部の大黒柱?! 就活も、ダンスで培った度胸で勝負するという松尾采佳さん。



目指すは、歌って踊れる保育士?! 本音は、アーティストになりたいと、真剣に考えている榊孝祐君。



おっとりそうに見えて、芯が強い田沼陽花さん。誰もが認める、理想的な保育士さんタイプ!



大空へ、JUMP UP!

組むとともに、コーチの指導も相まって、サークルのメインイベントである10月の等々力祭の頃には、全員が舞台上に立てる実力を身に付けることができたといえます。

プロダンサーに混じっての外部公演は大きな収穫

メインイベントの等々力祭では見事、80分、13曲のステージをこなしました。その際、コーチの振付によるものが3曲、他の10曲は自分たちで試行錯誤して振付を考えました。それを支えたのが、厳しい夏合宿です。コーチの知り合いの宿で2泊3日、みっちり基礎練習と筋トレを繰り返す、帰る時には全員が筋肉痛になっていました。

また、コーチの伝手で外部のイベントに参加する機会が多いのも、同サークルの特徴です。今年はプロのダンサーに混じって、松任谷由実さん命名の「品川ステラボール」での公演も経験。さらに大きく一皮むけたといえます。

「プロのダンサーたちの技術もさることながら、その熱気に触れることによって、ダンスの楽しさの真髄を垣間見たような気がします。改めて、ダンスの力は凄いと実感しました(都市生活学科・3年 川松 社一太君)」

さらに、ダンスを通じて、意欲や人間力も向上したといえます。

「私は4年生なので、すでに保育実習を経験。現場で子どもたちが踊る姿を見て、ダンスをやっていて良かったと実感しました。仕事に就いたら、自信を持って子どもたちと楽しく踊れる先生になります(田沼さん)」

「ダンスでステージに立ったことで、かなりメンタル面が鍛えられたと思っています。就活での面接やプレゼンテーションでも、臆することなく自分を表現することができそうです(都市生活学科・3年 松尾 采佳さん)」

最後に現部長の江森 文香さん(都市生活学科・2年)は、サークルの魅力と目標を次のように語ります。

「サークルの雰囲気を一言で表すと、「アットホーム」。今年は12名の新入部員も入ったので、より一層、和気藹々とやっていきたいと思っています。目標は、レベルアップと外部への情報発信。YouTubeやTwitterなどで発信しながら、他大学との交流も深めていきたい」と意気込んでいます。



これから、プロのダンサーと同じステージへ。緊張の中にも、笑顔あり



衣装もキメて、キュートなワンショット



横浜祭での公演。皆の熱さが観客にも伝わったことを実感

第87回 世田谷祭

極 祭 色

第87回 東京都市大学世田谷祭 実行委員長
工学部 機械工学科3年

竹内 祐人

今年度から、東京都市大学学園祭の共通テーマが新しく「新しい」をずっとになり、世田谷祭のテーマ「極祭色」を掲げ実行委員一丸となって活動してきました。

実行委員一人ひとりが、昨年度よりも更に工夫を考え実現し、それぞれの個性が来場者の方々に伝わるような独創性のある学園祭創りを目指してまいりました。

今年は、準備日に悪天候となりましたが作業が遅れることもなく、無事に世田谷祭当日を迎えることができました。1日目にはゲッターズ飯田さんによる占いトークショーと、お笑い芸人のトンツカタンさんに司会を務めていただいた「笑劇!お笑いゼミナール」が行われ、大いに世田谷祭を盛り上げていただきました。2日目にはアーティストを招いての「TOSHI ROCK FESTIVAL '16」や様々な景品が当たる「大抽選会」を催し、多くの方々にご来場いただきました。また、小さなお子様には実験を通じて科学を知ってもらおうと「科学体験教室」を、学生には企業の方々に技術展示をしていただく「都市大EXPO」などを開催し、幅広い年代の方々に楽しんでいただけたと思います。

テーマである「極祭色」には「たくさんの人の個性が重なり合い、世田谷祭を色づけるように」という意味を込めました。その甲斐あってか、今年は実行委員も自分たちのやりたい「新しい」ことに挑戦できた年となりましたし、私も目標を達成できたと思っています。委員長として世田谷祭を迎え、たくさんの発見がありました。地域の方々や大学関係者など様々な方が協力し、支えてくださることで世田谷祭というものができていることを、この1年で強く実感しました。支えてくれた皆さんには言葉にできないほど感謝しています。

来年度は後輩たちが今年度とは違う世田谷祭を創り上げると思うと、今から楽しみです。一年に一回しかない、毎年絶えず変化していく世田谷祭に是非ご来場ください。

第8回 等々力祭

楽しさ つながる つないでいく

第8回 東京都市大学等々力祭 実行委員長
都市生活学部 都市生活学科3年

加賀見 健太

等々力祭は今年で第8回を迎え、今年度のテーマは「楽しさ つながる つないでいく」を掲げ、更に新しく東京都市大学学園祭共通テーマも「新しい」をずっととしました。

それぞれのテーマ「楽しさ つながる つないでいく」から今までの等々力祭をつないできた楽しさと、「新しい」をずっとから今年の等々力祭の新しいところを体感し、楽しんでほしいという思いから、第8回等々力祭を手掛け、結果として今年度らしい等々力祭を作り上げることが出来たと思います。

まずは目玉企画として、経歴がすごい(ハーバード大学院を卒業後、CIAやFBIの内定を蹴り、日本で女芸人に!)ということでメディアからも話題のREINAさんをお呼びし、トークショーを行いました。自分の身の回りの方にはいないような経歴の方からのお話を聞くことが出来、多くの方に満足いただけたかと思えます。また今年のもう一つ、らくがきミュージアムという目玉企画も展開し、こちらの企画は設置型で自分の書いたらくがきが動いたり、戦ったりするという企画となっていて、新しい遊びを多くの方に触れていただく機会となりました。そして今年例年行っているKids Parkやバルーンリリース、Magic Bar等の他にも新企画のすろく企画や模型を使った企画、TAP企画や模擬店等来場者の皆様が楽しめるような学園祭を目指しました。

今年の等々力祭も大学関係者、地元企業の皆様、地域の方々、そして上部特殊団体の皆様の力強いサポートにより無事に成功を収めることができました。当団体の活動にご支援・ご鞭撻を賜りましたことをこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。そして皆様が、当日お越しくくださったことが等々力祭の盛り上がりにつながりました。大変感謝致します。

来年の第9回等々力祭も後輩たちがその年ならではの思いを胸に活動を行い、より良い等々力祭を作り上げるために尽力してまいります。来年もその年にしかない等々力祭になりますので皆様のご来場を心よりお待ちしております。

課外活動短評

- 柔道部……第57回全日本理工科学生柔道優勝大会にて3位入賞。中原寛生君が加藤賞(優秀選手賞)受賞。
- 硬式野球部……平成28年度東都大学野球4部リーグにおいて、松田圭司君が首位打者獲得。
- バドミントン部……平成28年度関東大学バドミントン春季リーグ戦にて男子が5部優勝、入れ替え戦において勝利し、4部へ昇格。
- 弓道部……平成29年度東京都学生弓道リーグ戦・Ⅳ部にて男子が優勝、入れ替え戦において勝利しⅢ部へ昇格。
- 準硬式野球部……平成28年度新関東大学準硬式野球秋季リーグ戦において2部リーグ優勝。坂元信一郎君が最優秀選手に、佐藤快成君が最優秀投手に選ばれた。
- アメリカンフットボール部……平成28年度関東大学アメリカンフットボールリーグ戦・エリアリーグCブロック第2位、入れ替え戦において勝利し3部リーグへ昇格。

世田谷祭



等々力祭



バンドフェスティバル

渋谷GUILTYで バンドフェスティバルを開催

平成28年度 文化団体連合会 本部長 福本 将士
工学部 電気電子工学科 3年

平成28年10月2日(日)東京都渋谷区LIVE STAGE GUILTYにおいて文化団体連合会主催のバンドフェスティバルが開催されました。

このバンドフェスティバルは東京都市大学の軽音楽6団体から代表で各々1組~2組のバンドを出します。今年は計11組のバンドが演奏をしました。昨年と比べ演奏技術の向上やさらなる盛り上がりを見せました。

バンドフェスティバルでは各軽音楽団体の活動の成果を披露することで、他の団体との交流を通して違いや共感性を認識し、各団体の活性化につなげることに、東京都市大学の学園祭である世田谷祭の野外ステージに出演する演奏技術が高い団体を決める目的が有ります。野外ステージに出演する権利が賭かったライブである為、軽音楽団体が企画する6団体合同ライブと比べ、クオリティや緊張感が一味違ったものとなっております。

演奏技術がほとんどですが、パフォーマンス面の評価も野外ステージに出演する権利を決める基準となりますので、コールアンドレスポンスや、MC中にBGMを流した団体、煽るようなMCをする等、各団体が観客を盛り上げるために工夫を凝らしていて、それぞれ個性が出ていたと思います。

演奏する音楽のジャンルは問いませんので、激しいパンクやメタル、思わず体を揺らしてしまうようなR&BやJ-POPなどいろいろなジャンルの音楽が聴けました。一番驚いたのは童謡のメドレーを演奏していたバンドで、おそらくバンドフェスティバルで初めて童謡を演奏して観客を沸かせたバンドであると思います。

大盛況で終わったバンドフェスティバルですが、反省点が無いわけではありません。改善すると共に次の代への引き継ぎをしっかりとすることで、軽音楽団体の更なる発展と活性化へ繋げていきたいと思っておりますので、今後ともバンドフェスティバルをよろしくお願いいたします。



事務局便り

後援会会員の皆様には、日頃から大学行事や課外活動等に対してご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

後援会では、今年度も学生の課外活動支援をはじめ、学園祭、体育祭などの大学行事への援助、さらに、多くの学生の皆さんから好評を得ております朝食支援制度「朝活応援企画「100円朝食」」を継続して実施してまいりました。また、9、10月に大学各キャンパスおよび全国主要都市で実施された「大学と保護者との連絡会」では、保護者の皆様、地方会場にご出席いただいた後援会理事・評議員や校友会

支部などの関係者の皆様と、有意義な意見交換ができました。このような、保護者と大学そして後援会の三位一体での取り込みは、学生生活の向上・充実に大いに寄与していると思われま。

保護者の皆様と大学との橋渡し役として、後援会の役割はますます重要になるなか、社会に貢献できる人材を輩出するよう、学生の教育・指導・支援を行ってまいりますので、引き続きご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



横浜キャンパス副学生部長
環境学部
環境創生学科 教授
史 中超

◆◆平成28年度◆◆ 「大学と保護者との連絡会」実施結果 ◆◆

平成28年度の「大学と保護者との連絡会」は9月3日(土)から始まり、最終日の10月1日(土)東京・横浜地区までの間、全国20会場において開催されました。各会場の出席状況は以下のとおりで、各地区において理事・評議員の方々には運営等にご協力いただきました。

◆ 会場別出席世帯数 (対象県以外からの出席者を含む)

開催地	開催日	会場名	出席世帯数
札幌	9月 3日(土)	札幌全日空ホテル	4
仙台	9月11日(日)	江陽ランドホテル	20
郡山	9月10日(土)	チサンホテル郡山	8
宇都宮	9月10日(土)	チサンホテル宇都宮	22
水戸	9月10日(土)	三の丸ホテル	41
さいたま	9月 4日(日)	ラフレさいたま	39
高崎	9月 3日(土)	高崎ワシントンホテルプラザ	15
新潟	9月 4日(日)	ホテルオークラ新潟	10
世田谷	10月 1日(土)	東京都市大学 世田谷キャンパス	839
等々力		東京都市大学 等々力キャンパス	147
横浜		東京都市大学 横浜キャンパス	210
甲府	9月10日(土)	アーバンヴィラ古名屋ホテル	13
長野	9月 3日(土)	ホテルサンルート長野	7
富山	9月 4日(日)	ANAクラウンプラザホテル富山	7
沼津	9月 3日(土)	ホテル沼津キャッスル	23
静岡	9月 4日(日)	ホテルアソシア静岡	29
浜松	9月 3日(土)	オークラアクティシティホテル浜松	23
名古屋	9月 4日(日)	ホテルキャッスルプラザ	15
広島	9月 3日(土)	ANAクラウンプラザホテル広島	10
福岡	9月 4日(日)	ホテルモントレラ・スール福岡	15
合 計			1,497

◆ 都道府県別出席世帯数

都道府県名	出席世帯数	前年度出席世帯数
北海道	7	11
青森	2	2
岩手	2	1
宮城	19	24
秋田	3	2
山形	2	2
福島	12	15
茨城	68	56
栃木	35	40
群馬	25	23
埼玉	91	102
千葉	52	52
東京	338	378
神奈川	648	749
新潟	18	21
富山	6	3
石川	1	7
福井	1	1
山梨	16	13
長野	15	19
岐阜	1	2
静岡	89	94
愛知	12	16
三重	4	5
滋賀	0	0
京都	0	0
大阪	0	1
兵庫	1	3
奈良	0	0
和歌山	0	1
鳥取	0	0
島根	1	0
岡山	0	1
広島	9	10
山口	0	2
徳島	0	1
香川	1	2
愛媛	0	1
高知	1	1
福岡	11	12
佐賀	1	1
長崎	2	2
熊本	0	0
大分	1	0
宮崎	1	3
鹿児島	1	2
沖縄	0	0
合 計	1,497	1,681

TCU-COM
2017.January

no.
55

発行・連絡先 **東京都市大学後援会**

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1 東京都市大学内 後援会事務局
電話：03(5707)0104 内線：2227 FAX：03(5707)1160
メールアドレス：kouenkai@tcu.ac.jp